

～現場すぐに使える重要な基礎知識や具体的な進め方を解説～

1名分料金で
2人目無料

医薬品の知財デュー・デリジェンスの進め方と

具体的な知財価値評価手法

【LIVE配信】
【アーカイブ配信】

◆日 時：2026年3月19日(木) 12:30～16:30

【アーカイブ配信：3/23～3/31(何度でも受講可能)】

◆会 場：【WEB限定セミナー】※ご自宅や職場でご受講下さい。

◆受講料：1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円

・2名同時にお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円)

・ライブ配信視聴、アーカイブ配信視聴いずれも受講料は同じです。

セミナーHP <https://www.rdsc.co.jp/seminar/260319>

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講 師】※講師のご略歴等の詳細は弊社HPでご確認下さい

東京共同弁理士法人 パートナー弁理士(東京共同会計事務所 シニアマネージャー兼任) 五十嵐 義弘 氏

【講座趣旨 / プログラム】 ※詳細内容は弊社HPでご確認下さい

はじめに、特許を始めとする知的財産(権)の特性について概説し、そもそも知的財産(権)はどのように把握され、どう取り扱われるのかが適切なのか、そして知的財産戦略がなぜ必要なのかを知っていただけます。その後は前後半に分ける。まず前半で、知的財産の「デュー・デリジェンス(Due Diligence/DD)」について解説し、単なる「調査」ではなく、なぜ「デュー・デリジェンス」という言葉が使われるのか、その真の意義と、具体的な進め方をご理解いただけます。知的財産のDDは、事業上の様々な経営判断において、例えばライセンス契約(技術導入、共同研究、開発契約を含めたオープン・クローズド戦略等)、事業投資、株式への出資(資本提携、ベンチャー投資、M&A等)など、多くの場面で必要とされる。特に、大手企業の場合、ベンチャー企業との案件対応で知的財産デュー・デリジェンスを実施しなければならないケースが多い。そもそも、知的財産は原理的に「全ての業界・業種」に存在するものなので、大なり小なりそのDDを行うべきか否か、行うならばどの程度のコストをかけるべきか、原則、その判断を各事案の「入口手前」ですることになる。一方で、実際の現場では、知的財産DDが、単に周辺知財(特許)調査や権利個々の内容・ステータス把握の作業に終始しづちである。本来の目的に見合ったDDがなされているとは言い難いケースが散見される。知的財産DDは、今も「古くて新しい」コンセプトなのであり、課題だと言える。また、後半では知的財産の「価値評価(バリュエーション)」について解説する。技術・事業・企業の定量・定性的評価を行るべき場面において、無形資産である知的財産の価値評価は、案件成否に影響を及ぼす重要なステップになり得る。従来からの技術・事業・企業の価値評価(主に特許)にとどまらず、様々な案件に付随した税務対応案件、ブランド売買(商標権を含む営業権全般)、著作権取引等、多様な場面が想定される。一方、世の知的財産価値評価の解説は、あくまで知的財産という狭い視点から手法(How to)が提供されていくに過ぎない。経営・事業戦略の観点からその勘所や意義を俯瞰したような解説は無いに等しい。本セミナーでは、そのような経営・事業戦略の視点からも解説したい。全体を通じて、基礎知識のエッセンス習得だけでなく、戦略的思考のプラッシュアップにも役立ち得る時間にしたい。初学者はもちろん、知的財産に関する知識をお持ちの方にもおすすめするセミナーである。

1. 知的財産の役割に関する基礎知識

1.1 経営の視点から知財戦略を考える

1.2 知的財産の基礎知識エッセンス

2. 知的財産デュー・デリジェンス(知財DD)

2.1 なぜ知財DDが重要で、必要なのか

2.2 知財DDでは何を確認しなければならないのか

2.3 定性的評価：すべきなのだろうか

・事業が権利保護されているか

・FTO(Freedom To Operate)

・他社権利との関係性：侵害可能性

2.4 知財DDの進め方

・スケジュール確認／外部委託の場合は費用概算の確認と合意形成

・相手先への資料提供依頼(入口)

・インタビュー：訪問対面 or Online

・相手先への更なる資料提供依頼

・独自調査

・質疑応答のキャッチボール

・DD報告書Draft共有

・更なる質疑応答のキャッチボール

・DD最終報告書

2.5 各知財のDD

・特許、商標、著作権

・職務発明規定

3. 知的財産の価値評価(バリュエーション)

3.1 知的財産の価値評価に影響する要素

3.2 評価者の立場によって、評価ロジックや評価額に実は微妙な違いが生じる

・ファイナンスと会計

・事業の将来価値全体に対する知財の寄与率

・フェアバリューを引き出す手法について、実は説得力ある組織や機関が不在(無い)

3.3 価値評価に必要なファイナンスの基礎知識

・NPVとDCF ・リスク(割引率)：リスクを理解すればファイナンスの多くが解る

3.4 価値評価の世界にあるセンチメント

3.5 知的財産価値評価で使用が検討される典型的な手法：リアルな観点から

・DCFを使ってNPVを算出するキャッシュフロー・アプローチ

・さらにロイヤリティ料率とDCFを組み合わせたキャッシュフロー・アプローチ

・コスト(取得原価)アプローチ ・類似比較(類似取引)アプローチ

3.6 知的財産の価値評価に関する問題・課題

・知的財産の担保価値：実際どうなのだろうか、あるのかないのか

・なぜ知財の価値評価を利用するビジネスが盛り上がって来なかつたのか

・売買の困難性：相手方のファインディングさえも難しい

4. まとめ

【質疑応答】

本セミナーは「Zoom」を使ったWEB配信セミナーとなります。Zoomを使ったWEB配信セミナー受講の手順

1) Zoomを使用されたことがない方は、こちら(https://zoom.us/download#client_4meeting)からミーティング用Zoomクライアントをダウンロードしてください。ブラウザ版でも受講可能です。2) セミナー前日までに必ず動作確認をお願いします。「はじめかたについてはこちら(<https://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。

3) 開催日直前にWEBセミナーへの招待メールをお送りいたします。セミナー開始10分前までにメールに記載されている視聴用URLよりご参加ください。

・セミナー資料は開催日前までにお送りいたします。無断転載、二次利用や講義の録音、録画などの行為を固く禁じます。

『知財デュー・デリ』セミナー申込書 ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒< ■LIVE ■アーカイブ >

会社・大学

〒

住 所

電話番号

FAX

お名前

所属

E-Mail

①

②

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

●Webセミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。上記のLIVEかアーカイブにチェックを入れて下さい。弊社から受付完了のご連絡をいたしまして請求書をお送りいたします。

セミナーお申込み後、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席下さい。代理の方も見つからない場合、営業日(土日祝日を除く)で8日前まででしたらキャンセルをお受けします。

受講料の支払いに関してはHPをご覧下さい。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧下さい。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>



R & D
SUPPORT CENTER

株式会社 R & D 支援センター

〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-24 VORT東陽町ビル 7F
TEL) 03-5857-4811 FAX) 03-5857-4812 URL) <http://www.rdsc.co.jp/>